

4.8 景観

「土地又は工作物の存在及び供用」において、対象事業実施区域周辺に分布する主要な眺望点及び景観資源の改変の程度、主要な眺望景観の変化について、調査、予測及び評価を行いました。

主要な眺望点、景観資源及び主要な眺望景観の考え方を図4.8-1に示します。

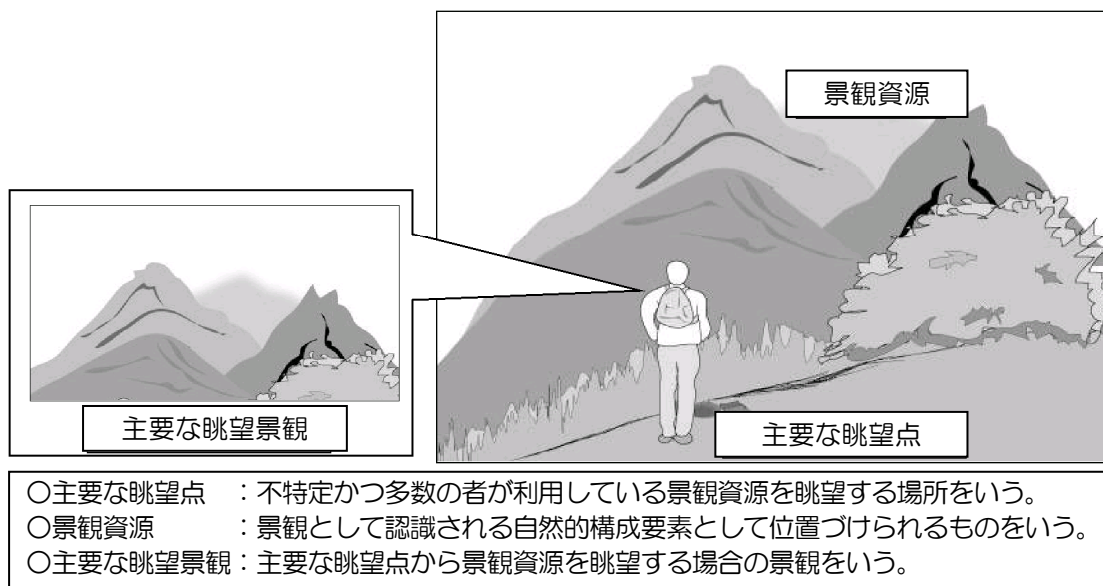


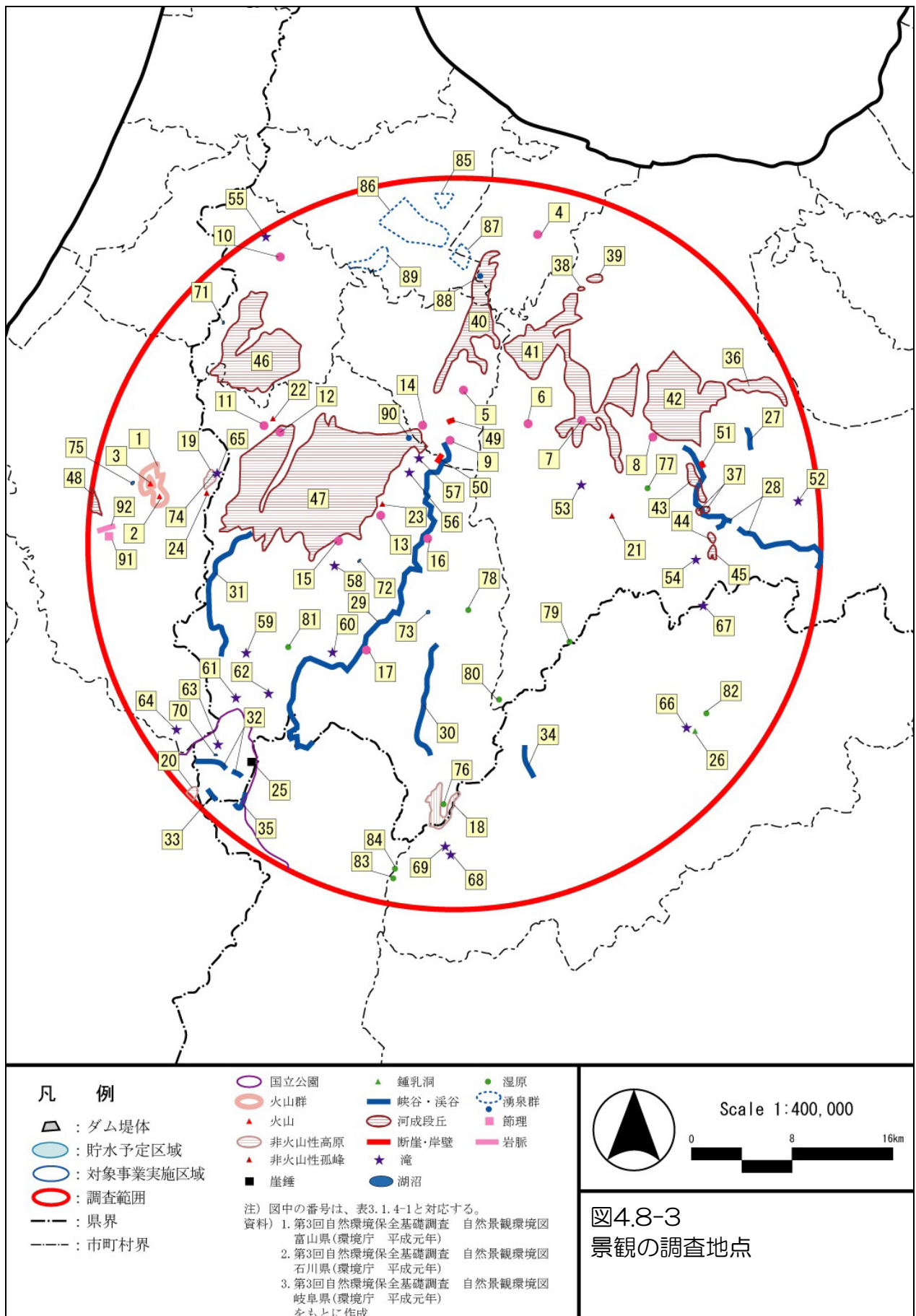
図 4.8-1 主要な眺望点、景観資源及び主要な眺望景観の考え方

(1) 調査手法

現地調査の調査手法、調査地域・調査地点及び調査期間を表4.8-1、主要な眺望点及び主要な眺望景観調査地点の選定の流れを図4.8-2、調査地点を図4.8-3に示します。

表 4.8-1 景観の調査手法

調査項目	調査手法	調査地域、調査地点	調査期間	調査内容
主要な眺望点の状況	文献調査	ダム堤体から約29kmの範囲	調査期間等は特に限定しません。	文献調査により、主要な眺望点を選定しました。
景観資源の状況	文献調査	ダム堤体から約29kmの範囲	調査期間等は特に限定しません。	文献調査により、景観資源を選定しました。
主要な眺望景観の状況	現地調査	ハ乙女山・大寺山ハイキングコース、高峰山、金剛堂山	調査時期 春季：平成15年6月7日、令和元年5月23日 夏季：平成15年8月13日、令和元年8月2日 秋季：平成15年10月30日、平成30年11月1日 調査時間帯：昼間	現地調査(写真撮影)により、景観資源を眺望する場合の眺望景観の状況を把握しました。



(2) 調査結果

現地調査を実施した結果、主要な眺望点として八乙女山・大寺山ハイキングコース、高峰山及び金剛堂山が選定され、同地点において景観撮影を実施しました。

八乙女山・大寺山ハイキングコース、高峰山及び金剛堂山の主要な眺望点の状況、景観資源、主要な眺望景観の状況について、文献調査、聴取調査、現地調査(景観撮影)によって得られた結果を表4.8-2、写真4.8-1～3に示します。

表 4.8-2 景観の調査結果(1/3)

調査項目	調査地点	概要
主要な眺望点の状況	八乙女山・大寺山ハイキングコース	八乙女山・大寺山ハイキングコースは、八乙女山と大寺山を結ぶ全長約8kmの登山コースです。八乙女山は標高756mの山であり、山頂付近には戦国時代の山城跡があり「八乙女山頂の砦跡と大杉」として井波町の指定文化財に指定されています。また、八乙女山と大寺山の間にある栃原峠は、かつては利賀村と井波町を結ぶ重要な峠であったとされていますが、現在は利用されることがなく、利賀村へ通り抜けるのは難しくなっています。そのため、一般にはこのハイキングコースは八乙女山と大寺山を往復するコースです。八乙女山・大寺山ハイキングコースの利用は、若葉の萌え立つ新緑の頃から紅葉の美しい秋季までの期間が登山適期であり、登山者は新緑の時期に比較的多いです。八乙女山から大寺山の区間は、スギの植林や落葉広葉樹の森林に囲まれて視界が開けていませんが、本ハイキングコースの入口である八乙女峠では、一部で南側に視界が開けており、庄川峡を望むことができます。
	高峰山	高峰山は、貯水予定区域の北東側に位置する標高1,071mの山です。百瀬川と利賀川に挟まれた峰の一つで、稜線の北方に牛岳、南には越道峠をへて、樽尾峠にまで伸びています。山頂には高峰権現堂があるほか、芝生広場として整備されており、展望台やベンチが設置されています。高峰山には山頂に至るハイキングコースが整備されており、車も通行可能なことから、地元の人を中心にハイキングや車で山頂に訪れる人がいます。高峰山山頂は、若葉の萌え立つ新緑の季節から紅葉の美しい秋までの期間に訪れる人があり、新緑の季節に比較的多いです。山頂からは東に百瀬川、西に利賀川、遠方には県境の山並みと北アルプス連峰が見渡せ、東に富山湾、西に伏木湾まで展望が開けています。しかし、山頂からは対象事業実施区域が見えないため、山頂付近を通るハイキングコースで、南西側に眺望が開けた地点を景観の調査地点としました。
	金剛堂山	金剛堂山は、貯水予定区域の南南東側約8kmに位置する山で、前金剛、中金剛、奥金剛の3つのピークからなっています。金剛堂山は江戸時代以前には加賀藩と富山藩の領境に位置し、山岳信仰の霊域とされていました。修験の場として各地から参籠があり、神保氏、佐々氏、前田氏などの歴代武将の崇敬が高かったとされています。金剛堂山への登山は、若葉の萌え立つ新緑の季節から紅葉の美しい秋季が適した時期であり、多くの者が登山等で訪れます。山頂付近は背丈の低いササ原や風衝草原であることから展望が開けています。

表 4.8-2 景観の調査結果(2/3)

調査項目	調査地点	概要
景観資源の状況	庄川峡	庄川峡は、庄川沿いの渓谷です。庄川は岐阜県に源を発する全長111.8kmの川であり、飛騨山地北部の山々を深く侵食して台地や峡谷を形成しています。さらに小牧ダム周辺から上平村までの区間では、庄川用水合口ダムや小牧ダムなどによる大きな人造湖が独特の峡谷美をつくりだしており、庄川峡の川面と新緑や紅葉、雪化粧の山々等の美しい姿を望むことができます。
	宝達山	宝達山は、対象事業実施区域より北西約32kmに位置する標高637mの非火山性孤峰です。天正時代から明治のはじめまで金銀を採掘し、加賀藩の台所を潤したといわれ、加賀藩にとっては名称の通り宝の山とされていました。能登半島では最も高い山です。
	石動山	石動山は、対象事業実施区域から北に約50kmに位置する標高564mの非火山性孤峰です。能登と越中の境に、ひときわ高くそそり立つ山です。山頂には社があり、神が天下り、祖霊の静まる山として古来より敬われていた霊山です。また、ブナの森林に覆われた山頂部は、大御前とも呼ばれ、その四季の移り変わる色彩が里人の農事暦とされていました。
	飛騨高地	飛騨高地は、対象事業実施区域から南方向に位置する非火山性山地からなる高地です。岐阜県と富山県との県境付近に位置し、人形山(標高1,726m)、三ヶ辻山(標高1,764m)、金剛堂山(標高1,650m)、白木峰(標高1,596m)等の山々から構成されています。
	白山	白山は対象事業実施区域から南西約32kmに位置する火山群です。白山は、一般に主峰の御前峰(標高2,702m)、剣ヶ峰(2,677m)、大汝峰(標高2,684m)が代表的な山ですが、主峰の御前峰をはさんで南北に岐阜県と石川県の県境を走る100kmあまりの山脈の総称です。昔から、富士山、立山とともに日本三大名山の一つに数えられ、信仰の山として崇められてきました。

表 4.8-2 景観の調査結果(3/3)

調査項目	調査地点	概要
主要な眺望景観の状況	八乙女山・大寺山 ハイキングコース	八乙女山・大寺山ハイキングコースから庄川峡方向は、眼下に庄川峡を望むことができ、山間を蛇行しながら流れる庄川と、複雑に入り組んだ谷や尾根の稜線が美しい渓谷美を形成しています。庄川峡の斜面林は、一部にスギ植林などの人工林がみられますが、ミズナラ等が優占する落葉広葉樹林が広い範囲を覆っており、秋季に紅葉して山肌が黄や赤に色づきます。
	高峰山	高峰山から白山方向は、手前にはスギ植林等の人工林があり、奥に利賀川の渓谷を望むことができます。利賀川に面する斜面には、スギ植林などの人工林やミズナラ等の優占する落葉広葉樹林がモザイク状に入り組んでいます。 蛇行して流れる利賀川の谷部と、利賀川の右側に続く山々の稜線が複雑で奥行き感のある眺望景観となっており、中央の遠方に白山の山脈を望むことができます。
	金剛堂山	金剛堂山には前金剛、中金剛、奥金剛の3つのピークがありますが、調査地点は中金剛からの眺望としました。手前には高峰山山頂付近の風衝草原が、正面には金剛堂山の稜線があります。その奥に砺波平野に向かって連なる山々を眺望することができます。さらに遠方には、能登半島にそそり立つ宝達山を望むことができます。



写真 4.8-1 八乙女山・大寺山ハイキングコースからの眺望景観(秋季)



写真 4.8-2 高峰山からの眺望景観(春季(新緑の時期))



写真 4.8-3 金剛堂山からの眺望景観(秋季)

(3) 予測手法

予測対象とする影響要因と環境影響の内容を表4.8-3に示します。

主要な眺望点及び景観資源の改変の程度については、事業計画と主要な眺望点、景観資源を重ね合わせることでにより影響を予測しました。

主要な眺望景観の変化については、フォトモンタージュにより、眺望景観の変化及び影響要因の視角の程度により、影響を予測しました。

表 4.8-3 予測対象とする影響要因と環境影響の内容

影響要因		環境影響の内容
土地又は 存在及び 供用の 工作物の	・ダム の 堤 体 の 存 在 ・建設発生土処理場の跡地の存在 ・道路の存在 ・ダム の 供 用 及 び 貯 水 池 の 存 在	・ダム堤体等の存在により、主要な眺望点から景観資源を見た場合の眺望景観が変化し、主要な眺望景観に影響を与える可能性があります。

予測地域は調査地域と同様とし、予測対象時期は土地又は工作物の存在及び供用におけるダムの供用後としました。

(4) 予測結果

主要な眺望点及び景観資源と事業計画を重ね合わせた結果を図4.8-4、予測結果を表4.8-4、供用後の主要な眺望景観の状況を写真4.8-4～6に示します。

表 4.8-4 景観の予測結果

項 目	予測地点	予測結果	環境保全措置 の検討 ^{注)}
主要な眺望点	八乙女山・大寺 山ハイキング コース	対象事業の実施により改変される主要な眺望点及び視点場は対象事業実施区域には存在しないことから、改変はないと予測されます。	-
	高峰山		
	金剛堂山		
景観資源	庄川峡	景観資源はいずれも改変区域外に位置していることから、対象事業の実施による改変はないと予測されます。	-
	宝達山		
	石動山		
	飛騨高地		
	白山		
主要な眺望景観	八乙女山・大寺 山ハイキング コース	八乙女山・大寺山ハイキングコースから庄川峡を望む眺望景観において、付替道路の一部が認識されますが、線状に認識することができる程度であることから、眺望景観の変化は小さいと予測されます。	-
	高峰山	高峰山から飛騨高地、白山を望む眺望景観において、貯水池、付替道路の一部が認識される可能性があり、眺望景観が変化すると予測されます。	○
	金剛堂山	金剛堂山から宝達山を望む眺望景観において、貯水池の一部が認識される可能性がありますが、ほぼ線状に認識することができる程度であることから、眺望景観の変化は小さいと予測されます。	-

注) ○：環境保全措置の検討を行う項目を示します。
 -：環境保全措置の検討を行わない項目を示します。

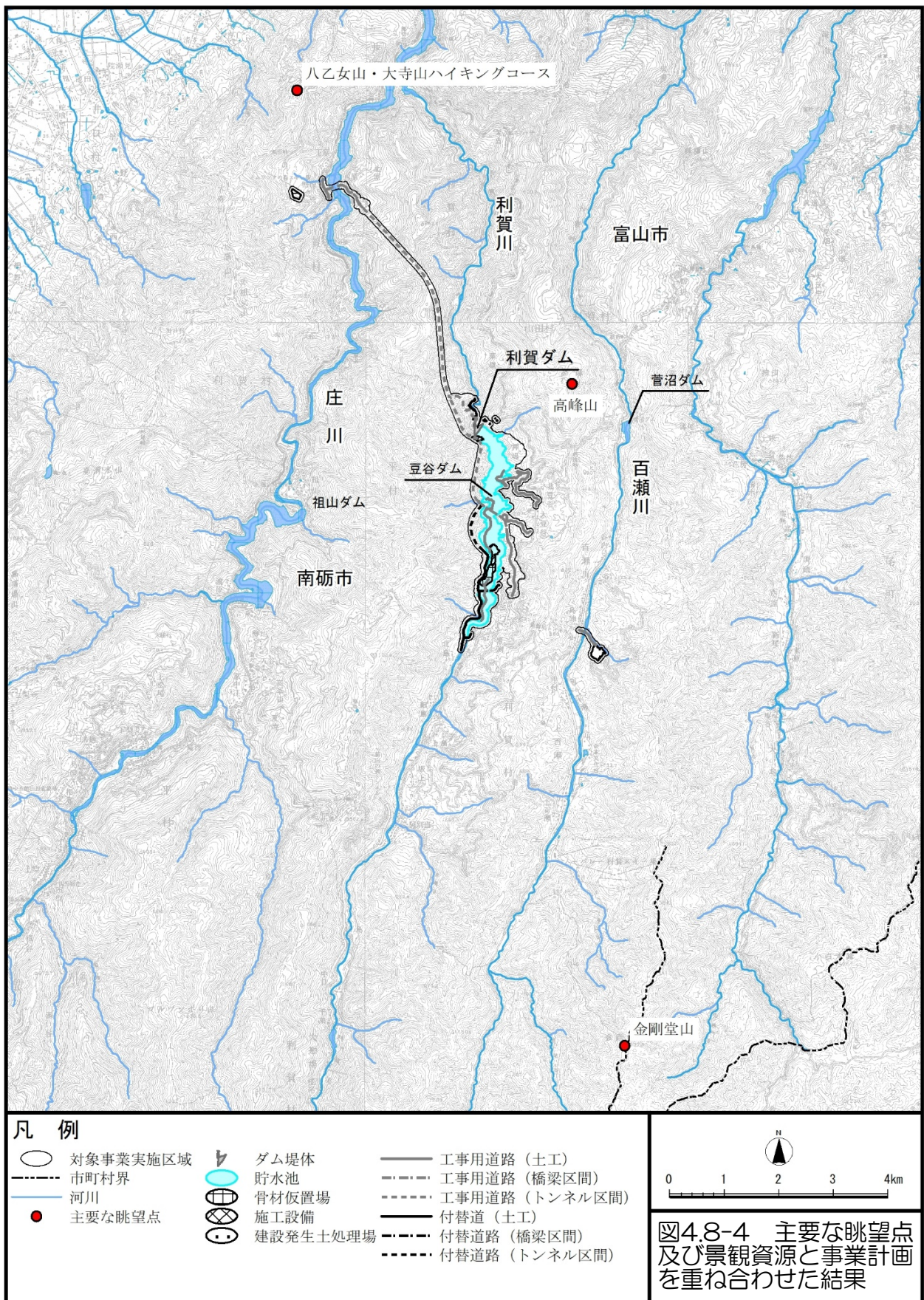




写真 4.8-4 ハ乙女山・大寺山ハイキングコースからの眺望景観(現況)

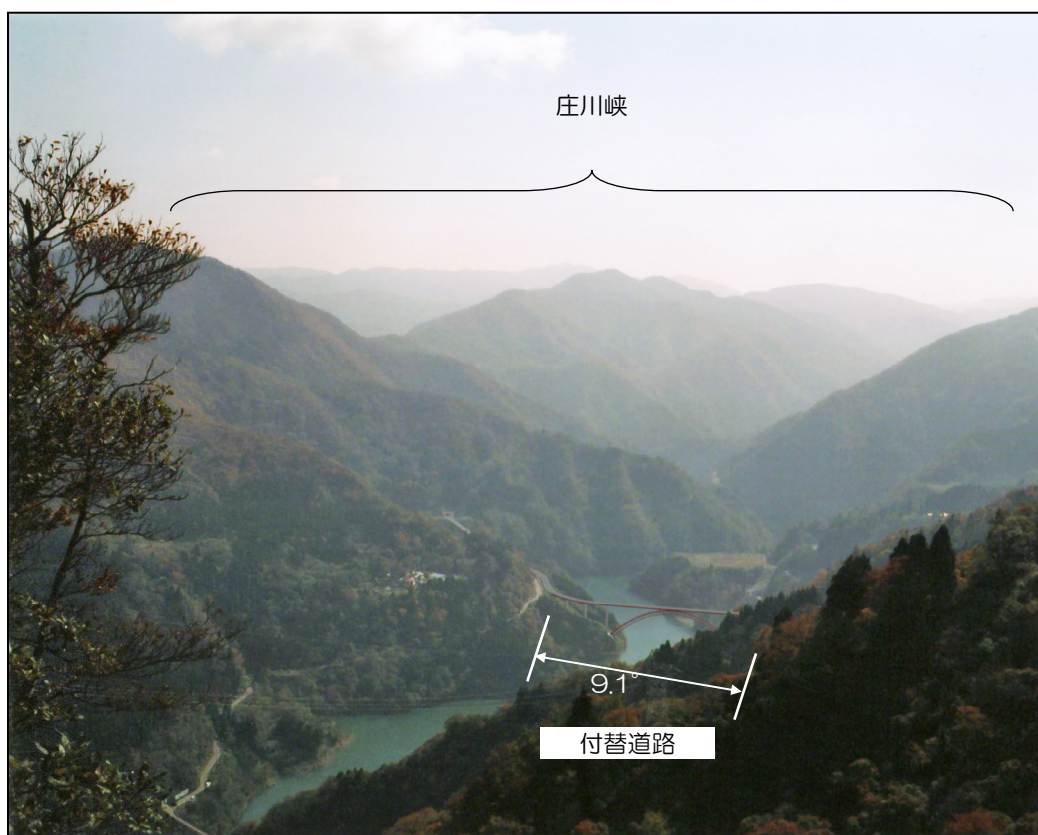


写真 4.8-4 ハ乙女山・大寺山ハイキングコースからの眺望景観(供用後)

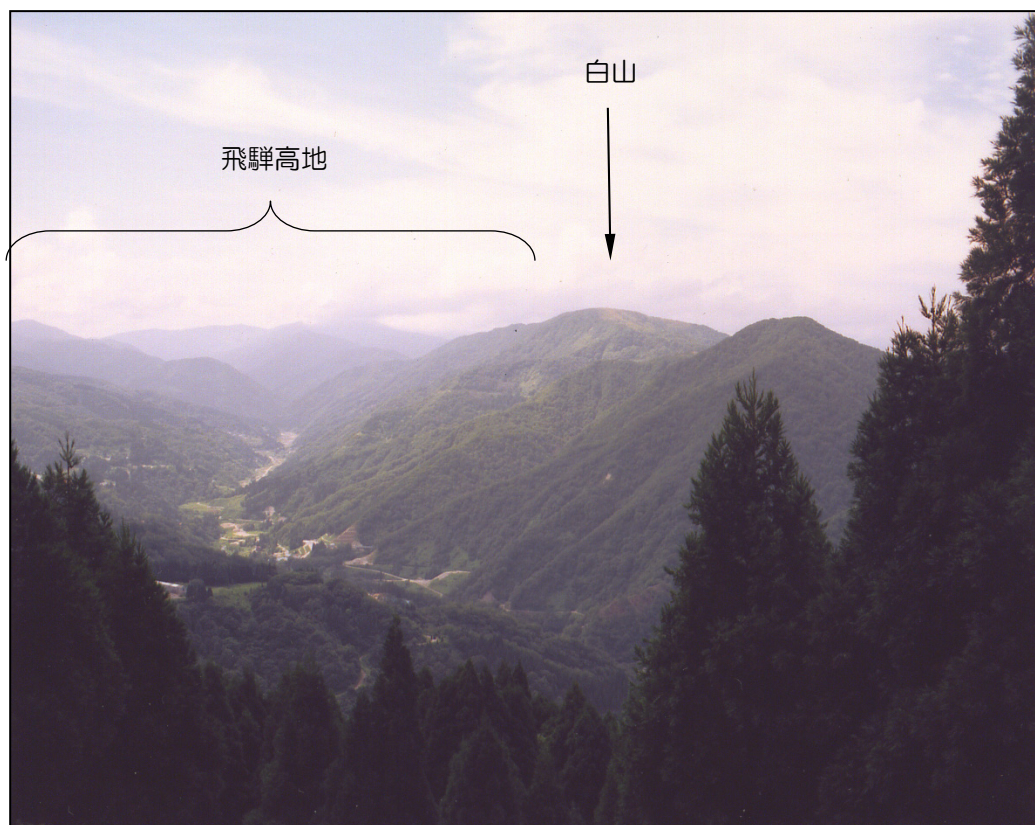


写真 4.8-5 高峰山からの眺望景観(現況)

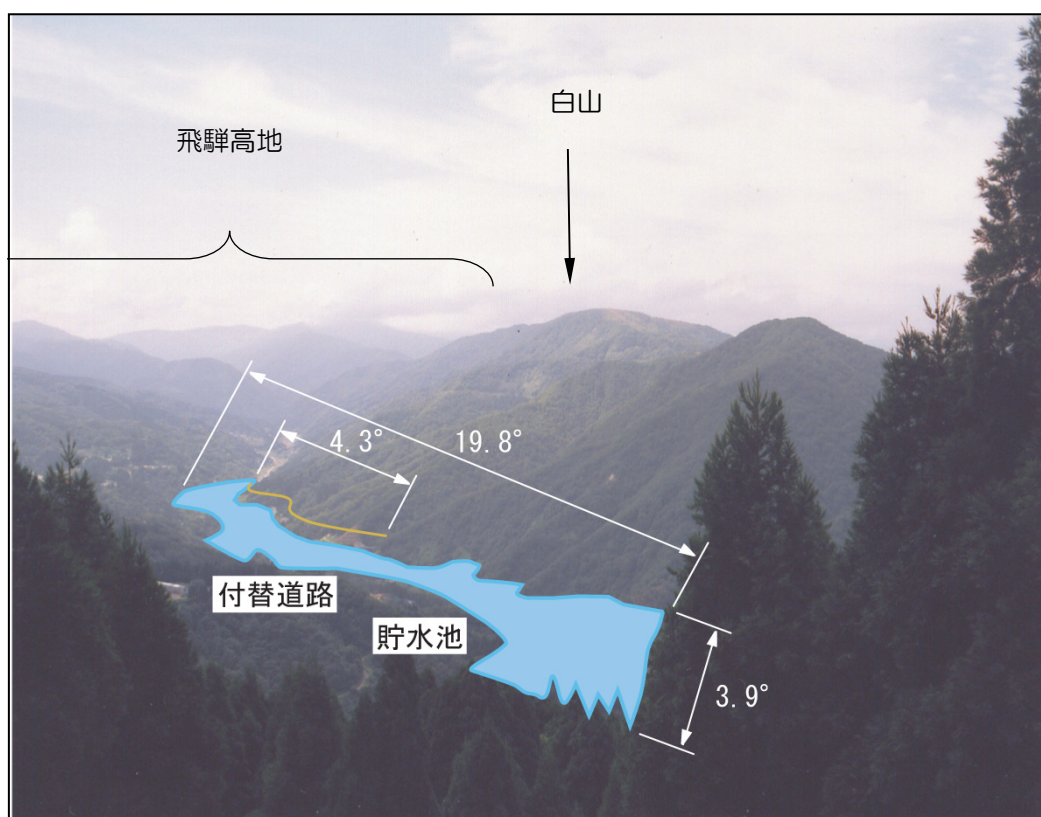


写真 4.8-5 高峰山からの眺望景観(供用後)



写真 4.8-6 金剛堂山からの眺望景観(現況)



写真 4.8-6 金剛堂山からの眺望景観(供用後)

(5) 環境保全措置

「土地又は工作物の存在及び供用」において、景観資源が改変され、主要な眺望景観の一部が変化するとの予測結果を得ました。このため表4.8-5に示す環境保全措置を実施することとします。

表 4.8-5 景観の環境保全措置

項目		環境影響	環境保全措置の方針	環境保全措置	環境保全措置の効果
主要な眺望景観	高峰山からの眺望景観	貯水池、付替道路の一部が視認され、主要な眺望景観に変化があります。	主要な眺望景観の変化を低減します。	法面等の緑化	法面等を緑化することにより、景観の変化を低減する効果が期待できます。

(6) 評価の結果

景観については、主要な眺望点、景観資源及び主要な眺望景観について調査、予測を行いました。その結果、主要な眺望点及び景観資源については影響がないとの予測を得ましたが、主要な眺望景観の一部が変化するとの予測結果を得ました。

主要な眺望景観の高峰山については、環境保全措置として法面等の緑化を行うこととします。

これにより、景観に係る環境影響が事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避・低減されると判断します。